

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：防火水槽整備工事 (武蔵村山市)				
補助事業者名	武蔵村山市				
実施場所	武蔵村山市中原四丁目3番地の1				
補助事業の成果の目標	<p>武蔵村山市では、今後想定されている多摩直下地震と立川断層地震等の予期せぬ災害に備え、消火活動に必要な水源を確保するため、防火水槽の整備を順次進めている。今回防火水槽を設置予定の中原地区は、消防水利が不足している地域であり、防火水槽を整備することで、防災力の向上を図るものである。</p> <p>【参考指標】 中原地区の人口／世帯数： 4,703人／1,894世帯(H29.8.1現在) 震災時水利充足率 81.5%(H29.8.1現在)</p>				
補助事業の内容	防火水槽(40t級)設置 1基				
補助事業の始期及び終期	平成29年度				
事業費及び交付金額		H29年度			計
	事業費	円 12,949,200	円	円	円 12,949,200
	交付金額	円 6,000,000	円	円	円 6,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事開始前には、地域住民へ工事のお知らせのチラシ配布による事業の周知を行った。</p> <p>整備後は当該施設に調整交付金事業であることを明示し、市ホームページ上に置いて、事業の周知を行った。</p> <p>中原地区の自治会へヒアリング調査を実施し、地域の防災力の向上が図られたと、地域住民からのお話をいただいたこと、また消防水利不足地域が解消されたことにより、成果目標が達成されたと判断する。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	今後も消防水利不足地域を解消するため、設置場所の検討、地域住民の理解を得ながら事業を実施する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。